

【めあて・まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】 「まとめの全員アウトプット」で学力の定着を図る

〈初級編〉学習をまとめ、振り返る時間を確実に設定する！

問A、授業で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示したか
問B、授業の最後に学習したことを振り返る活動を行ったか

選択肢		問A 小学校	問B 小学校	問A 中学校	問B 中学校
よく行った	教師	79.5	60.6	87.1	46.8
	(児童生徒)	(57.4)	(41.1)	(65.9)	(31.5)
どちらかといえば、行った	教師	19.7	36.2	12.9	41.9
	(児童生徒)	(31.6)	(38.1)	(28.0)	(41.9)

平成29年度全国学力・学習状況調査に関する鳥取県(全体)の回答
※下線は教師と子供とで10ポイント以上開きがあるもの

授業の目標（めあて・ねらい）が示されている割合は高いですが、振り返る活動が行われている割合はぐんと下がります。

授業の終末に、「学んだこと」を自分で説明できてはじめて「分かった」「できた」と言えます。

〈中級編〉「まとめ」の全員アウトプットで、学習内容の定着を図る！

全員が
目指そう

これが今日の「めあて」に対する「まとめ」です。教師が学習指導要領解説等をもとに「まとめ」を言語化し、提示することが大切です。

「まとめ」を言語化することは、教師自身の授業のゴールイメージを明確にすることにもつながります。

まとめた内容について全員が書いたり声に出したりする機会（アウトプット）をつくることで、学習内容の定着を図ります。

全員
アウト
プットの
例

書く ペアで グループで 全員交代で

〈上級編〉まとめ→理解確認のための教師の問い返し→子供のアウトプットで、まとめの内容の確実な定着を図る。

みんなで作った「まとめ」について順番に説明してみましょう。友達の説明のいいところを取り入れたり、足りないところは補ったりしましょう。

分母はどちらも5なので、分母はそのままにして分子だけを計算します。分子が2+1で3になるので答えは3/5です。

もともになる分数が1/5です。2/5はこれが2こ。1/5は1こ。つまり1/5が(2+1)こで3こになるので、答えは3/5です。

もし問題が1/7+2/7だったとしたら、もともになる分数の1/7がいくつ分になるかを考えれば整数と同じように計算ができます。

もう、みんなが自分の言葉で言えそうですか？では、となり同士で説明し合ってみましょう。

説明の質が高まっていく

うまく説明ができなかった子供については、最後にもう一度指名し、確実にアウトプットができるようにします。